

## 「高崎プライド」 ～心と形を整える～

令和3年2月19日(金) NO25 文責 木下 文秋

### あなたが信頼できる人は？

少し前になりますが、朝日総研という会社による「あなたが信頼できるものは？」という調査結果です。①家族、友人97% ②天気予報94% ③新聞91% ④科学技術86% ⑤医師83% ⑥裁判72% ⑦テレビ69% ⑧警察63% ⑨教師60% ⑩宗教30% ⑪政治家18% ⑫官僚18%だそうです。残念ながら下位はまさに今の日本の様子を反映しています。辞任と謝罪の連発です。新聞に「人に期待するな。自分に期待すべし」と書いてありました。確かに自分を磨いて自分が一番信頼できる存在になることが大事かもしれません。

### GIGAスクール構想

「Global and Innovation Gateway for All」の略で簡単に訳すと「誰一人取り残さない」というような意味になるそうです。来年度から全国全ての小中学生にひとり一台のタブレット端末〔ノート型パソコン〕が導入され、情報通信技術を活用して授業を行う「ICT教育」を国が推進するということです。実際に提供されるタブレットを扱いましたが、A4サイズくらいの大きさです。学校ではまだつながっていませんが、Wi-Fiの整備も終わっています。ただ実際に来年度からタブレットを使ってどのように授業を進めていくのか。生徒がどれくらいタブレットを使いこなせるのか。そもそも我々がうまく使いこなせるのか。色々な不安もあります。令和になってエアコンが整備され、トイレの様式化が進み、タブレットが導入されるなど明らかに時代が変化していることを感じます。今後学校はどのように変化していくのか想像すらつきませんが、恐らく教科書が電子教科書になったり、校則も今の常識が大きく覆されたりするのではないかと思います。現に、部活動は社会体育に移行して、教員が指導することがなくなるように国は予算を付け始めています。今は顧問が自分で経験したことのないスポーツの指導を放課後や休日に行っていますが、ここも見直しがされる部分だと思います。「不易と流行」という言葉のとおり、残すべき事と変えるべき事のバランスが大事だと考えます。学校においては、人と人とのつながりとか助け合いや思いやりの心とかは、科学やICTではなく、アナログの世界で身につけさせていきたいものです。学校の変化が生徒にとって有意義であるように。